2019 年度　愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301122	教育史 History of Education	久保田英助	専門	2	選択	4年　前期

科目の概要

教育とは、人間の歴史とともに古いといえます。その教育の歴史を、西洋と日本という2つの視点から学んでいきます。教育を文化史、制度史、そして思想史の観点から学ぶことで、教育をより深く考察できるようになることが、授業の目標です。そして教育学に関して深い知見を学ぶために不可欠な、「歴史的思考」の基礎を身に付けることを目指します。

学修内容	到達目標
①　教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。	①-1　家族と社会による教育の歴史を理解している ①-2　近代教育制度の成立と展開を理解している。 ①-3　現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。
②　教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。	②-1　家庭や子供に関わる教育の思想を理解している ②-2　学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 ②-3　代表的な教育家の思想を理解している。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	ここで言う「主体性」とは、本講義に積極的に取り組む態度である。たとえば、テキストを自学自習し、分からない用語や文意をあらかじめ調べておくことなどが挙げられる。（予習）
	働きかけ力	
	実行力	ここでの「実行力」とは、「主体性」をさらに具体的に実行にうつす力のことである。たとえば、自学自習をインターネットから得られる情報を効果的に活用して深め、さらに新たな情報を得ることなどが挙げられる。（予習）
考え抜く力	課題発見力	本講義で発揮したい「課題発見力」の例は、本講義で学んだ内容に関して、これまで学んできた学習内容を踏まえ、自分なりの問題意識を持つことが出来ることなどが挙げられる。
	計画力	
	創造力	講義で学んだ内容を、自らの問題として捉え直し、自分なりの課題を新たに立て、その解決策を探ることができる力を「創造力」とする。（復習）
チームで働く力	発信力	課題発見力を駆使することによって生み出した自分なりの問題意識を、ディスカッションを通じて表現することが出来るスキルなどが、ここでの「発信力」の一例である。
	傾聴力	ディスカッションにおける他者の表現を正確に聴き取り、その文意だけでなく、なぜそのような表現を用いたのかといった背景にまで、関心を持つことが出来る態度を「傾聴力」としたい。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	以上の学習を習慣づけ、計画的に実践することができる態度を「規律性」とする。（復習）
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

参考文献：森川輝紀・小玉重夫『教育史入門』放送大学教育振興会、2012 年
今井康雄『教育思想史』有斐閣、2009 年

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育原理、教育課程総論、特別活動論、道徳教育の理論と実践などの教職専門科目
資格との関連：中学校および高等学校教諭一種免許状（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
基本的にはプリントに従って説明していくが、補足説明が多いので、必ずノートにとっておくこと。 内容で分かりにくかったこと、難しかったこと、授業の進め方で改善してほしい点などがあれば、積極的に教員に述べてほしい。共に有意義な授業を作っていきたい。	携帯・スマートフォン等についてのルールは講義の冒頭で指示する。授業に関係のない場面での使用は厳禁であるが、情報検索や、アプリを使った討論などでは積極的に活用していく予定である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	40	①	✓	授業の冒頭で、前回の授業に関する基礎知識の復習による習得程度を小テストという形で診断する。
		②	✓	
レポート	50	①	✓	教育の歴史を学ぶなかで着目した歴史的課題の内容やその背景をどれだけ自ら調べ、理解しようとしたか。さらにはそれらに対してどのような考察を加えることができたか。以上の学習成果をレポートという形で審査する。
		②	✓	
成果発表（口頭・実技）				
作品				
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	「学修行動特性評価シート」を用いて、予習＝「主体性」「行動力」、本時の学習＝「課題発見力」、「発信力」、「傾聴力」、復習＝「創造力」、「規律性」の 7 つの能力要素を評価する。 （主体性）必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる （実行力）手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。 （課題発見力）事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）聞き手にわかりやすく、話すポイントを整理して発表することができる。 （傾聴力）グループワークで、人の意見を確認し、自分の意見を述べることができる。 （規律性）自分の都合を優先することなく、集団のルールを守ることができる。
		②	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS（秀）及びA（優）の基準	到達レベルB（良）の基準
（1）筆記試験：①論理的な説明になっている ②歴史的事象が正確に理解されている （S はさらに現代的課題に結び付けて論じられている） （2）小テスト：平均 8 割以上（S は 9 割以上） （3）社会人基礎力：ディスカッションなどのグループワークでは、グループを積極的にまとめたり、他人の意見を引き出そうとするなど、リーダーシップやマネジメント能力を発揮していたかどうか。（S は、発揮しようとしていただけではなく、実際にそれらの能力が明らかに発揮されていた場合）	（1）筆記試験：到達レベル A に比べ、2つのうちのどちらかの観点が不足している （2）小テスト：平均7割以上 （3）社会人基礎力：到達レベルＡに比べ、リーダーシップやマネジメント能力の発揮に弱さが見られる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	古代の教育:この科目の概要を説明し、近代教育の原型となった古代の教育について概説する。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)参考文献を図書館で見つけておく (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
2週 /	近代以前の子育て:中世から初期近代までのヨーロッパ社会でどのような教育、子育てが行われていたのかを明らかにしていく。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
3週 /	近代市民革命と国民国家の形成:17 世紀からの市民革命とそれに続く19 世紀の国民国家形成が生み出した近代教育の特徴を概観する。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
4週 /	「子どもの発見」と近代家族:近代教育の特徴を、「子ども」の誕生と、子どもを教育する場としての近代家族の成立という視点から明らかにしていく。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	近代学校と義務教育:近代学校にもとづく義務教育制度の成立について、18 世紀から 19 世紀の産業革命との関連をふまえて説明する。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
6週 /	子どもの世紀:近代学校が拡大普及していく 20 世紀に興った新教育運動と、そこに影響を与えた子ども中心主義やマルクス主義の特徴について学ぶ。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
7週 /	近世社会における人間形成:近世社会において、「子ども」はどのように育てられ、どのように「一人前」の「大人」になりえたのかを考察する。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
8週 /	近世社会と学びの文化:近世社会における文字学習の機会拡大の動態とその要因、さらにはそれがもたらした社会的影響について学ぶ。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	近代学校の出発:西洋教育情報の摂取が進められる中で、近代学校が成立・普及していく過程を概観し、これまでの教育や子どもの生活がどのように変化したのかを理解する。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
10週 /	明治公教育と教育勅語:西洋型の近代化をめざす、明治国家にとっての教育上の課題は、いかなる国民をいかなる方法によって教育するかであり、当時におけるその答えが教育勅語であった。教育勅語とは何であったのかを考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
11週 /	教育学の受容と新教育:ヘルバルトによる教育学の成立以降、西洋のさまざまな教授理論は、多くの学校現場で研究・試行された。こうした受容のプロセスと、その結果展開された「新教育」という実践の特質を考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
12週 /	戦時下の学校・教育:公教育体制は、1930 年代以降、「教学刷新」の名の下に再編されていく。総力戦に対応した「平準化」「合理化」と「非合理」な国体明徴運動にともなって展開する戦時下の学校・教育について考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	戦後の教育改革:戦後教育改革は、教育の理念・制度・内容に大きな変化をもたらした。敗戦から 1960 年までの教育の展開を整理・検討することで戦後教育改革が何を達成し、いかなる課題を残したのかについて考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
14週 /	経済成長と教育:高度経済成長が戦後の教育に及ぼした影響と帰結について検討し、併せて1970年代までの教育の展開と検証することで、1980 年代以降の教育改革へと連続する教育課題についても考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	現代の教育:今日の世界と日本の教育の特徴を、近代からポスト近代への移行という歴史的展開のなかに位置づけて考える。	講義 ディスカッション 質疑応答	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習)配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。(復習)講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力